

# 令和元年度 グループホーム（ゆうゆう館、れん、かなで） 事業報告

## 1 事業計画に基づく取り組み状況

### 「かなで」の本格的な運営の開始と体験利用の再開

#### 計画要旨

法人として3つめのホームとなる「かなで」（定員7人）が平成30年10月に開所して半年となる（平成31年4月時点）。新たに採用した世話人複数名も現場に慣れてきたことから、現在は5人の入居者だが新年度早々に新たに1人増やすことを計画する。

また、先々のホーム入居を見据えて「ゆうゆう館」において行ってきた宿泊体験について、ゆうゆう館が満室となったために休止の状態にある。この体験について「かなで」での再開を考えたい。

#### 取組結果

ライン工房利用者5人の入居でスタートした「かなで」について、当初は令和元年度の早い時期にもう一人入居者を増やすことを考えていましたが、利用希望者の特性などから入居に向けては長期間の体験を組んだことから、6人目の入居は新年度（令和2年度）当初にずれ込みました。残り一部屋については将来的なホーム利用を見据えての宿泊体験室（男性用）として使用していくこととしています。令和元年度中には計3人の方の継続的な利用がありました。

今回の入居により全3ホームの入居者は21人（男性14人、女性7人）となり、うちライン工房利用者は19人となっています。その多くはいわゆる「親なき後」を見据えた利用というよりも、入居者の年齢的には20代30代の入居者が11人と半数を占めていることが示すように、家族との適正な距離感を作るための入居といった色合いが強くなっています。

なお、「かなで」開所に際し新たに採用した世話人に加え、法人全体の体制変更なども影響して令和元年12月より新たに2人の世話人を採用し、グループホーム全体では10人（夜間に宿泊しての支援も行う世話人の人数）となっています。

## 2 入退去状況

ゆうゆう館： 11月に1人がかなでに移る（かなでの入居者と入れ替わり）。

れん：入居者の異動はない。

かなで： 11月に1人がゆうゆう館に移る。